



宜野湾市立
普天間第二小学校だより

1月

やすらぎ

発行日：平成29年1月18日 水
発行者
普天間第二小学校
校長：喜屋武 悦子



今年もよろしくお祈いします

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします

元気いっばいの普二っ子の歓声が、学校に戻ってきて早二週間が経ちました。子どもたちのさわやかな笑顔と満足気な表情から、充実した楽しい冬休みを過ごしたことが分かります。保護者のみなさまの目配り・気配りに感謝いたします。

さて、3学期は、「一月は行くが如し」「二月は逃げるが如し」「三月は去るが如し」のように瞬く間に過ぎていきます。一年間の総まとめ・総仕上げをして自分のよさを確かめ可能性を見出し、次年度の進級・進学に備える学期です。私たち職員は、子どもたち一人一人がこの一年間でどう成長したか、次の年度に期待することは何かを具体的に見出し、夢や目標を高く持って新たな年度に向かうようリードしていきたいと考えています。

3学期は、以下の点に重点を置いて、指導・支援を進めていきます。

学習指導では、この一年間の復習を行い、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させます。そのために、すき間の時間や放課後に補習を取り入れ、個別指導の充実を図っていきます。生活指導では、一年間の締めくくりを感謝の気持ちで終われるよう、お互いのよさや目標に向かって協力し合い頑張ったこと等を認め合う機会を多く持つようにします。

各学級・学年では、一年間の出来事をふり返り、集団として成長したこと、みんなで協力して成し遂げたこと等を確認します。

このような学習や経験を通して、自分や友だち・集団（学級・学年・学校）のよさを見出し確認するとともに、次の学年や中学校に向けての希望や意欲を語り合えるようにしていきたいと考えています。昨年同様に、本年度も本校へのご協力ご理解をお願い申し上げます。

*** 「始業式・児童朝会」発表がんばりました ***

知念亜美
さん

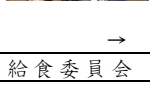


1月6日(金)始業式、「三学期に向けて」を6年生の知念 亜美さんが発表してくれました。小学校最後の学期になるので、勉強・委員会活動等を頑張り悔いのないようにしていきたい。修学旅行も仲間との絆を深め思い出に残るようにしていきたいという発表がありました。6年生、全員の想いを代表として発表してくれました。



← 掲示委員会

1月12日(木)児童朝会で6年生の「掲示委員会」「給食委員会」の発表がありました。掲示委員会では、仕事内容、月の行事のお知らせの工夫、掲示物の取り扱い方等の発表がありました。



→ 給食委員会

給食委員会では、仕事内容、全校児童への給食の片付け方・マナー等の協力願い・さらに、栄養についての「寸劇」の発表がありました。2月には、委員会活動も5年生に引き継ぎます。最後までよろしくお祈いします。

*** 「授業参観・学校報告会」へどうぞいらしてください ***

今月、1月27日(金)には、今年度最後の授業参観と学校報告会があります。都合の許す限り学校へ来ていただき、子どもたちの様子を参観したり学校報告会で一年間の活動の報告を聞いていただければありがたいです。どうぞいらしてください。お待ちしております。

また、幼稚園でも同様に保育参観があります。子どもたちの激励をよろしくお祈いします。

11月中旬に、不審者情報が入り、11月末から下校時間帯に職員が学校近くの交差点・公園辺りまで児童下校の見届け・パトロールを継続して行っております。普天間交番とは、連携を図りながらパトロールの強化をお願いしております。また、地域自治会では、青色回転灯車によるパトロールも日々行ってくれています。事件・事故に巻き込まれたりすることがないように学校でも指導を続けていきます。ご家庭の方でも『安全な登下校・遊び方・帰宅時間』の話し合いをよろしくお祈いします。

1月(睦月)の主な行事					
日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	日	元旦	19	木	6年修学旅行(一日目)
4	水	仕事はじめ	20	金	6年修学旅行(二日目)
6	金	三学期・始業式	24	火	健康教育(1年～3年)
12	木	児童朝会(掲示・給食委員会)			*講師(元養護教諭:高原 恵子)
13	金	幼小中連携教育実践報告会	27	金	授業参観・学校報告会

*** 新年(酉年)を迎えて... ***



鶏は夜明けを知らせる鳴き声から、中国では吉兆をもたらす動物です。縁起を担ぐ中国人にとっては好ましいようです。日本でも鶏は、新たな時代を開く吉祥(きつしょう)のシンボルであります。その事から酉年はなにか新しく物事を始め、挑戦するによい年とされています。「酉」の字にはもともと「果実が熟してきた状態」という意味があるそうです。そこから「まいてきたものが実り、刈り取る時期」「いままでの努力が報われる時期」ということにもつながってきます。

これまでの本校の教育活動が、今年の干支の通り、「果実が熟してきた状態」になるようにしっかりと進んでいく、そういう年にしたいと願います。

さて、学校は子ども達のために何ができるでしょうか。学力をつける事が第一である事とはいえ、それだけでは、社会や自然や人間に対する知識を身につけることであり、自分で考えたり判断したりする力をつけることであり、それを表現すること、人と共に協力することができるコミュニケーション力です。それは、日々の授業だけでなく、すべての教育課程の中で生活の中で得ていきます。

本校の子ども達のために学力(生きる力)をつけるだけの力、つまり、学校の力を少しでも高めていければと思っています。学校力のエネルギーの源は、職員、保護者一人一人、地域の皆さんであります。職員・保護者一人一人、地域の皆さんがこの一年、健康にはくれぐれも留意され、元気に活躍されることを期待しています。皆さんと皆さんのご家族のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とします。

(平成29年 校長 喜屋武悦子)

四 計

『一年の計は元旦にあり』とは、昔からよく使われることわざです。もともとは明代の中国で編纂された『月令広義』という、年間行事や儀式等についての解説書中の「四計」という項の一節に由来するのだそうです。

その四計には、

一日の計は晨(あした=朝)にあり。

一年の計は春(正月)にあり。

一生の計は勤にあり。

一家の計は身にあり。……とあります。

これは

「一日は朝の気持ちのありかたで決まり、一年は年のはじめの決意で決まる。

人生ははじめに勤めることと決まり、一家の将来は身の振り方(生き方)

で決まる」といった意味のようです。

まとめると「はじめに目標や計画を掲げること、そしてコツコツ努力することが大切」となるでしょうか。

「夢八訓」

夢のある者は、希望がある
希望のある者は、目標がある
目標のある者は、計画がある
計画のある者は、行動がある
行動のある者は、実績がある
実績のある者は、反省がある
反省のある者は、進歩がある
進歩のある者は、夢がある

夢 → 希望 → 目標 → 計画 → 行動 → 実績 → 反省 → 進歩 → 夢という

「夢のサイクル」が一循環して、また「夢」の振り出しに戻ってきます。しかしこのサイクルが一巡した後の「夢」は、最初のものとは違っているはず。おそらく「夢のスケール」が、大きくなっていくはず。このステップを一つずつ着実に実践して「夢」から「さらなる大きな夢」へ、確実にステップアップしてどんどん「自己実現」に近づいていければと思います。

